

議会だより

あしや

No.226

令和7年
8月25日発行

ひじきの じゅうたん 絨毯

柏原漁港にて

6月
定例会

特集・・・・・・・・・・2P

6月定例会・・・・・・・・4P

町政を問う一般質問・・・・6P

議会活動報告・・・・・・13P

表紙の関連記事は14ページに掲載しています。

未来を拓く君たちへ がんばりよるっちゃんね！

文化



花植えボランティア



化石探検



芦屋かるた



避難訓練



古印作り



町内一斉清掃



町民体育祭演奏



魚道公園の生態調査



海岸清掃

芦屋町の将来を担う輝くこどもたちを紹介するっちゃんね！この他にもいろいろな活動があるっちゃんね！



特集

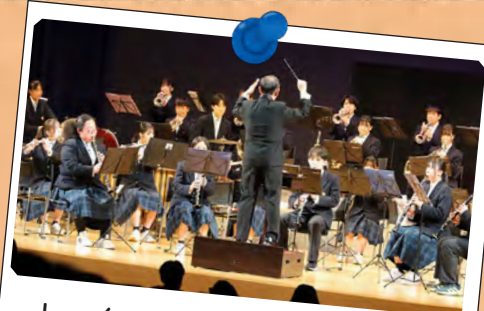
ありがとう！！ 芦屋のこどもたち



砂像制作



山笠太鼓練習



レインボーコンサート

郷土を思う心



田植え



稲刈り



ていちゃ
呈茶体験



伝統



わら馬づくり



鼓笛隊



図書館ボランティア



だごびーなづくり

6月
定例会

6月12日～23日

暮らしに寄り添う

経済的支援

アッシーの
議会豆知識

質疑とは

議会で審議する案件を本会議や委員会
でただすこと。

【対象者】

① 給付額に不足が生じる人

950人（見込み）

【例】

6月定例会では条例
2件、予算1件、契約
3件の6議案が上程さ
れ、すべて満場一致で
可決されました。

補正

◆ 定額減税補足給付金

（不足額給付）

（補正額：4031万円増）

令和6年中の所得などが確定したことで、昨年行われた定額減税補足給付金（調整給付金）に不足が生じた人や、昨年行われた定額減税の対象外かつ低所得世帯向け給付などの対象世帯に該当しなかった人に対し給付されます。

◆ 移住支援金

（補正額：500万円増）

県外から芦屋町への移住を後押しするため、支援金を支給する制度です。

【支給要件】

①～④すべてに該当する人

② 税制上定額減税対象外かつ低所得世帯向け給付などの対象とならなかった人
350人（見込み）

【例】

・ 個人事業主の事業専従者など

※ 対象者には9月ごろ町から通知が届きます。

【問】

所得が見込みより多かった人は返還金が生じるのか。

【答】

国の方針では、返還は求めないとなっている。

③ 就業・起業の要件。「福岡県移住・就業マッチングサイトに掲載された法人への就職」など。
④ その他の要件。「過去10年以内に移住支援金を受給していないこと」など。

【問】

事業内容は。

【答】

主に三大都市圏から芦屋町に移住して、就業、起業などの支給要件を満たす世帯に100万円、単身の場合60万円の支援金が支給される。また世帯に18歳未満の子どもがいる場合には1人につき100万円が加算される。

【問】

三大都市圏以外の移住者には支給されないのか。

【答】

人材確保が困難な職種への就職などは、三大都市圏に限らず、支給対象となる。

詳細は芦屋町ホームページをご覧ください。

移住支援金
ホームページ

冷たいビール！



しほさん

一言インタビュー

あなたの暑さ対策は？

◆高齢者帯状疱疹 ワクチン定期接種

令和7年4月から65歳以上の
人などを対象に、帯状疱疹
予防接種費用の一部を負担し
ます。

【対象者】

- ①令和7年度に65歳になる人
- ②令和7年度に70、75、80、85、90、95、100歳になる人など。

問 ワクチンの種類や接種
回数は。

答 生ワクチンは1回接種、
組み換えワクチンは2
回接種で、どちらかを接種し
てもらう。

問 自己負担額は。

答 生ワクチンは1回
4600円で、組み
換えワクチンは1回につき
11000円。非課税世帯の
人は無料。

◆ふるさと納税 返礼品に芦屋釜

(補正額：226万円増)

問 ふるさと納税の仕組み
は中間事業者と返礼品
事業者とのやりとりが一般的
だと思うが、鋳物師ではなく
芦屋釜の里が返礼品を購入す
る理由は。

答 鋳製酒器などの鋳物製
品は、これまで芦屋釜
の里が一旦仕入れ、ふるさと
納税返礼品として発送な
どの手続きを行っている。
今回の芦屋釜も同様の対応
とした。

問 販売ルートやPRの方
法はどうするのか。

答 芦屋釜の価値を伝えら
れるよう、返礼品のホー
ムページを作り込むなどして
幅広くPRを行っていく。

◆コミュニティ 助成事業補助金

(補正額：60万円増)

はまゆう区の自主防災支援
組織が、自治総合センターに
申請していたコミュニティ助
成事業補助金が採択され、町
を通じて同組織へ60万円が支
給されました。同組織は発電
機と投光器を購入予定です。

問 発電機や投光器は各自
治区に設置すべきだが、
この助成事業は毎年1つの区
だけ採択されるのか。

答 そのような制限はない
が、予算の範囲内で採
択される。



契約

◆非常用電源工事

災害時に庁舎などが停電し
た際に、72時間は外部からの
供給なしで非常用電源を適切
に稼働させるため、3つの施
設の請負契約を締結します。

○庁舎

■契約業者
株ふちわき

■契約金額
1億7496万円

○中央公民館

■契約業者
九昭電設工業株

■契約金額
1億1966万円

○総合体育館

■契約業者
北筑電業株

■契約金額
1億2889万円



熱中症に
気をつけるっちゃ！

空調服を
買いました！



厚さん (75歳)



町政を問う 一般質問



一般質問会議録

6月13日、16日に6人が一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などの所信を聞き、報告や説明を求め、疑問点をたずねることです。

ページ	質問議員	質問事項
7	松岡 泉	○ 食育の推進 ◎ 防災対策 ◎ ちょい乗りタクシーの導入
8	萩原 洋子	◎ 飼い主のいない猫 ◎ 農業者支援 ○ 町営住宅の建て替え ◎ PFOS・PFOA
9	本田 浩	◎ 学校部活動の地域移行
10	川上 誠一	◎ 学校体育館等への空調設置 ◎ 芦屋基地の3つの問題
11	長島 毅	◎ 外部人材活用の成果と課題の検証 ◎ メタバース芦屋港の現状と今後の課題
12	妹川 征男	◎ 水路問題の解決と法定外公共物管理条例 ○ レジャー港化の進捗状況（質問取り下げ）

◎：記事掲載あり ○：記事掲載なし

議会だよりは要約しています。詳しくはホームページの会議録や録画中継でご確認ください。





防災対策

学校体育館のエアコン設置は

総務課長

設置の検討を始めたところだ

問 能登半島地震から約1年半がたつ。地震の教訓が語られるようになってきたが、その教訓とは何か。

答 土砂崩れにより道路が被災し、被災地域への進入が困難となったこと、基本的なインフラ・ライフラインが被害を受け避難生活が長期化したこと、さらに高齢化が進んだ地域であったことなど、さまざまな要因が重なり復旧活動や支援活動に支障が出たことである。

問 災害対策基本法の一部改正案が5月28日に成立した。法改正の内容は何か。

答 地方公共団体に、毎年1回物資の備蓄状況の公表が義務付けされた。また被災者の生活環境の整備として、避難所での福祉サービスの提供に努めることや避難所に滞在できない被災者にも福祉サービスの提供に努めることである。他にも国による災害対策の強化策がある。

問 被災時期は、寒い時期であった。公明党は約25年前から学校体育館のエアコン設置を訴えてきた。現在では交付税措置が行われており、令和7年度からはランニングコストも補助されるようである。エアコンの設置をすべきでは。

答 避難所の環境整備という観点からも重要だと考えている。学校施設と避難所の両方の視点から設置に向けた検討を始めたところである。



空調設備が待たれる学校の体育館

問 災害時の福祉的支援の内容と町の対応は。

答 これまでは避難所だけの支援だったが、在宅避難や自家用車で車中泊する人にも適切な福祉サービスの提供が求められる。国からガイドラインが示された後、町としてどのように取り組んでいくか検討したい。

問 町の地域交通は重要である。運用状況は。

ちよい乗り
タクシーの導入

答 バス停は人口分布に合わせて約150メートル以内に設置。公共交通網はある程度充実し、空白地帯はないと考える。

問 高齢化が進み、歩くのもままならない状況や時間が合わない状況を踏まえたよい乗りタクシー導入の考えは。

答 デマンド交通導入の検討は、時期尚早である。



萩原洋子
はぎわら ひろこ
録画中継

飼い主のいない猫

多様な方法で野良猫対策を

環境住宅課長

必要性を見定めながら検討

問

町は保護猫活動のボランティアと取り組んできたTNR活動を休止し、今年度から住民にボランティアでお願いしようとしているが、大木町で手術を受けるのではなく、もっと近場で手術できるようにしてはどうか。例えば、鞍手町の不妊去勢手術費補助事業や水巻町、遠賀町でも導入の地域猫事業の検討など、町も多様な方法で野良猫対策を進めては。

答

TNR活動の方法を変更したことで猫の数や、苦情や相談が増えるなどの影響を注視し、TNR活動事業と地域猫事業の必要性を見定め検討する。当分の間は無責任な餌やり対策に重点を置きたい。

問

餌やりへの声かけ・注意だが町の条例はない。何を根拠に行動するのか。遠賀町では猫に関する条例を施行している。町もここまで踏み込むべきでは。

答

遠賀町の条例は注意勧告できる内容だが罰則規定もないため効果は不明とのこと。条例制定は今後の課題にしたい。



芦屋港湾緑地帯にいる野良猫

農業者支援

問

農業経営は厳しい状況が続いている。農業者のアンケート結果と支援策の検討状況は。

答

困っていることは、農機具にお金がかかる、農作物の価格が不安定、有害鳥獣の被害。

PFOS・PFOA

問

町は自衛隊芦屋基地内の井戸からPFOSなどが検出された問題で、九州防衛局、航空自衛隊芦屋基地に要望書を提出した。その後の返答は。

答

要請書手交時に「現時点で因果関係に確たることを申し上げることは困難だが、関係省庁や自治体と連携をはかりながら、地域住民の不安を払拭できるよう適切に対応していきたい」と回答があった。

問

適切な対応とは何か。県と協議し国に要望しては。

答

具体的な話はない。必要に応じ、国に要望を行う。



ほんだ
本田

ひろし
浩



録画中継

学校部活動の地域移行

今後の地域移行の推進は

学校教育課長

実情に応じて目指す

問 学校部活動の地域移行は、適切な民間団体や外部指導者を確保する必要がある。これまでの芦屋町の取り組みは、

令和6年度に、どのような進めることができるのか意見交換を行った。結果、主体となる個人や団体がいないことで、当面は外部指導員を増やし地域連携を進めていく。このことを受け、航空自衛隊芦屋基地隊員が外部指導員となった。

答 基地の隊員が登録されたことは地域移行が少し進んだように感じる。外部人材のつなぎ役のコーディネーターは、芦屋町にはいない。

問 これまでの取り組みから地域移行の効果と課題は、顧問教員の業務負担軽減になっている。全ての部活動指導の適任者が見つからないことが部活動改革を進める上

答 地域移行のキーマンとして保護者の声が大きいのかわかるが聞いたことがあるのか。現時点で部活動地域移行の新たな方策がないため、保護者の意向確認は行っていない。

問 保護者から理解を得ること、地域への情報提供が重要と思うが、対応は、学校から生徒や保護者へ、部活動のきまりを配布し、学校の部活動を周知している。

答 今後、部活動の地域移行はどのように推進するのか。国は令和5年度から7年度までの改革推進期間を設定している。芦屋町は実情に応じて地域連携・地域展開を目指すことになる。

問 福岡県は福岡大学と九州共立大学と連携し、指導

者養成の取り組みを発表した。芦屋町は包括的地域連携協定を九州共立大学と締結をしているので、指導者養成を相談しては。

答 大学との連携は部活動改革の選択肢の1つであるが、連携体制の構築に伴う事前調整がある。本年度部活動支援の補助を要望している。ただし、過去に同様の要望をした際に、活動時間などの調整がつかず、部活動指導の実現までには至っていないのが現状である。

問 芦屋中学校部活動の様子

答 芦屋中学校部活動の様子

問 芦屋中学校部活動の様子

答 芦屋中学校部活動の様子

問 芦屋中学校部活動の様子

答 芦屋中学校部活動の様子

問 芦屋中学校部活動の様子



芦屋中学校部活動の様子



学校体育館等への空調設置

各体育館に空調設置を求める

学校教育課長

補助制度を活用し進めたい

問 学校体育館に空調がないことはこどもたちの教育機会が制限され、災害時避難する人にとっても問題である。郡内の体育館へのエアコン設置状況を伺う。

答 岡垣町、遠賀町は今年度全ての小中学校に設置。水巻町は本年度より1校ずつ設置を行う。

問 町も過疎債などの制度を活用し空調を整備しては。財源のめどが立てば、学校体育館への空調設備の整備を進めたいと考えている。

芦屋基地の3つの問題

問 県が4月に行ったPFA S汚染の基地周辺の調査では新たに2地点で暫定針値を超えていた。今後の対応は。

答 県は基地に対し原因究明や対策を求めている。町は近隣自治体と協議し、国に原

因究明や対策を要望する。

問 基地は町に「住民の不安を払拭できるよう対応する」と回答していたが、これを真摯に受け止めるなら土壌調査や地下水の流動調査を行うべきでは。

答 今後も国に対して原因究明対策などを強く要望する。

問 3月26日にオスプレイが芦屋基地に飛来。^{注1}空中機動訓練のためとしていたが、7月に佐賀空港にオスプレイが配備されると再び基地に飛来するの

答 基地によると「芦屋基地を使用する計画は現時点ではないが使用する場合は適切に知らせる」との回答であった。

問 オスプレイは墜落事故が相次ぎ、65人が死亡。重大な欠陥が指摘されるオスプレイが芦屋上空を飛行することは周辺自治体の住民の命と安全を脅かすことになる。飛行の中止と飛

来などの重要な情報は町民や議会に知らせるべきことである。

答 飛行中止の答弁は控える。飛来情報は適時周知する。

問 T4の墜落事故が起こったが、人口密集地での飛行訓練は危険性が高い。基地の移転をすべきでは。

答 基地によると「移転する計画はない。飛行にあたっては安全性や騒音低減に留意する」とのことである。



3つの問題が指摘される芦屋基地（グーグル・アースより作成）

※注1

空中機動訓練…飛行、降着・離陸などの各部隊との調整



録画中継

外部人材活用の成果と課題の検証

外部人材登用の課題は

芦屋港活性化推進室長

力を発揮できる環境を整える

問 みなと準備室解散後、活動の振り返りや、実績と成果検証に対する町の評価は。

答 事業ごとの報告書の確認・検証をした。具体的に数値で表せないものや、事業の見直しなどあったが、DMO設立に向けた検討材料として十分役立つものであり、一定の成果があった。

問 みなと準備室への投資は正当化できるものか。

答 費用対効果を検証し、今後の事業の進捗状況などを踏まえ、総合的な視点から判断する。

問 外部人材の登用をどの様に見直し、改善していくのか。

答 登用する際は、ビジョンを明確にし、その能力を十分に発揮するための環境を整え、民間企業や専門機関からの人材確保を戦略的に進めていく。

メタバース芦屋港の現状と今後の課題

問 3月29日にオンラインゲーム「フォートナイト」上で運用開始されたメタバース芦屋港の現状は。

答 フォートナイト上のバーチャルステージでプレイヤーは様々なミッションをクリアし、芦屋港の魅力に触れることができ、5月末のプレイ人数は1400人以上である。

問 iPhoneなどスマホで利用ができれば利用者が増えそうだが、利用環境は。

答 ダウンロードの際に約150ギガとかなりの容量が必要となる。またiPhoneには対応していない。

問 令和8年度のポートパーク開業までの周知などは、開業までに各種媒体でのPR、またメタバース芦

屋港の中でイベント実施など検討する。

問 将来的な活用の取り組み、また町民や観光客への訴求力をどう高めるのか。

答 レジャー港化に興味を持った人を対象にコミュニケーションツールも構築している。メンバーで出した意見を基に観光施策のアイデアを出すなど、関係人口・交流人口の増加につなげていきたい。



フォートナイトのメタバース芦屋港

妹川征男



録画中継



水路問題の解決と法定外公共物管理条例

埋め立てを知っていたのでは

町長

通知がないので答弁できない

問 農業用水路の隣接地権者は3人。復旧工事のための同意はとれているのか。

答 同意を得たという報告はない。原状復旧工事は進んでいない。

問 町長（H氏）は、先の3月議会で「いま一度、書類を見えるので回答はお許し願いたい」と答弁していたが。

答 私人としての質問であるので、答弁はできかねる。

問 無断で埋められた13mの用水路。町長は、その100%の隣接地権者。さらには町有財産管理の最高責任者である。なぜ答弁を控えるのか。工事をすれば、近隣住宅の塀が倒れ被害がでる可能性があるが、その場合誰が保障するのか。

答 施工業者が全ての責任を負うことになる。町が施工業者と隣接者との間に関与する法的な理由はない。

問 民法第717条には、土地の工作物の占有者及び所有者（芦屋町）の責任として、保存に瑕疵ある場合、他人に損害を生じたとき、被害者に対し、その損害を賠償する責任を負うとある。

町は「町には瑕疵はない」としているが、瑕疵とは「もの」に対する法的欠陥のこと。例えば、不安定な地盤の土地を瑕疵ある土地、雨漏りする建物を瑕疵ある建物という。今回、用水路埋め立てによって「瑕疵ある用水路」となっている。

しかも無断埋め立ては、業務上の過失が原因と考えるべき。町には瑕疵はないと判断したことは不適切ではないか。

瑕疵はなかったという表現は撤回して、注意義務を怠った、怠慢であった、つまり過失であったと言い換えては。

答 瑕疵はないとしたのは、しっかり考えた上での回答である。それを今になって変

えるというようなことは考えていない。

問 埋め立てに町が関与してないこと自体、町の財産管理のずさんさを明らかにしている。町長は無断埋め立ての経緯を知っていたのではないか。

答 事前通知がないので答弁はできかねる。ご了承いただきたい。



無許可で埋め立てられた農業用水路・断面図

総務財政委員会視察

日程：4月2日（水）

参加者：本田浩、香田一之、内海猛年、
辻本一夫、妹川征男、貝掛俊之

ボートレース芦屋で改修工事中の2階有料席を視察しました。室内は中央に1人用のシングル席、その両サイドに2人用のペア席、複数人用のグループ席が配置されてます。

収容人数の総数は改修前より減りましたが、その分、各席は広くて快適です。また、グループ席は友達同士、大勢で利用できるのも、新たな需要が見込めるかもしれません。（香田）



視察の様子

民生文教委員会視察

日程：4月18日（金）

参加者：中西智昭、本田浩、長島毅、
川上誠一、内海猛年、松岡泉

魚見公園改修の進捗状況と、のり面から出る落岩の撤去などを視察しました。改修工事は、令和7年度の完成に向けて予定どおり進められていました。

気になっていたのり面の落岩は警備員を配置して安全確保の上で撤去するとのことで安心しました。見晴らしの良い生まれ変わった魚見公園の完成が楽しみです。（中西）



視察の様子

大雨洪水避難訓練

日程：6月21日（土）

参加者：長島毅、松岡泉、田中太、本田浩、
内海猛年、萩原洋子、香田一之

大雨や洪水を想定して行われた町の避難訓練を見学しました。避難場所となった総合体育館では避難者用の室内テントや簡易トイレの組み立てが行われました。また意識不明になった人を助ける心臓マッサージの実習も行われ、多くの方が体験していました。芦屋町は災害なんて発生しないよと油断することなく、もしもの時に備えることが大事だと実感しました。（香田）



心臓マッサージの様子

おんがレガッタ

日程：5月24日（土）

場所：遠賀川漕艇場

今年の芦屋町議会チームは、ひと味違う。

講師から学び、練習量を増やし、優勝を狙う。

4月の下旬、元大学ボート部の石丸先生（現・東小学校教諭）を招き、基本動作と実践練習の講義を受けました。おかげで、想定以上のスピードを手に入れた我が芦屋チーム。あとは戦うのみ……。ところが本番は大雨で中止。決戦は来年に持ち越しとなりました。（田中）



練習の様子

町かど インタビュー



若い漁業者、縄田愛輝さん（22歳）にインタビューしたっちゃ！

将来の漁業を担う！

漁業後継青年に聞いた！



Q 漁師になったきっかけは何ですか。
A 小さい頃から魚釣りが好きで、大きくなったらいちちゃんと一緒に船に乗りたいと思っていました。

Q どんな漁をしていますか。
A 6月までは、ひじき漁をしました。今はアワビやサザエ、イカ釣りなどをしています。



潜水漁のあとの愛輝さん

Q 漁師をやって良かったと思うのはどんな時ですか。
A アワビ・サザエや魚が大漁だった時は胸がワクワクしてやって良かったと思います。

Q 今後の夢は。
A 新しい船を造って遊漁船の船長として頑張りたいです。

Q 町に望むことはありますか。
A 魚のブランド化や若い人が楽しめる町づくりをしてもらいたいです。

議会を傍聴しませんか！

議会傍聴は、町民が町政に参加する機会のひとつです。ぜひお越しください。

**次回の定例会は
9月8日開会予定**

詳細は議会事務局にお問い合わせください。
TEL 093-223-3579

議会録画中継配信中

詳しくは、芦屋町ホームページをご覧ください。なお、配信は本会議終了から7日後（土日祝日のぞく）です。



録画中継で見た表決の様子



録画中継ページ

- 【発行責任者】 議長 辻本 一夫
- 【議会広報常任委員会】
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 田中 太 |
| 副委員長 | 川上 誠一 |
| 委員 | 萩原 洋子 |
| 委員 | 長島 毅 |
| 委員 | 中西 智昭 |
| 委員 | 香田 一之 |

編集後記

猛暑が続く今年の夏、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

バテやすい時期ですが、体を冷やす食材としてきゅうりやトマトなどが効果があるのでおすすめです。それと質の良い睡眠やこまめな水分補給を心がけて乗り切りましょう！

日中は無理せずエアコンなどを活用して涼しい場所で過ごし、夜はゆっくりと疲れを癒してください。この夏が、皆さまにとって健やかで充実したものに なりますように。

中西 智昭